



2022年6月13日

各 位

会 社 名 株式会社 梅 の 花
代 表 者 名 代表取締役社長 本 多 裕 二
(コード：7604 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 常務取締役 鬼 塚 崇 裕
(TEL 0942 - 38 - 3440)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2022年3月15日に公表いたしました「2022年4月期 第3四半期決算短信[日本基準](連結)」において未定としておりました2022年4月期(通期)の連結業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

2022年4月期(通期)の連結業績予想(2021年5月1日～2022年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回予想 (B)	22,591	△1,630	△1,792	217	19.58
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年4月期)	21,603	△2,252	△2,396	△1,921	△239.89

2. 業績予想の理由

2022年4月期(通期)の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明であり、適正かつ合理的な通期業績を見通すことが困難な状況が期初から続いていたことから未定としておりました。

当期業績につきましては、期初から続く新型コロナウイルス感染症の拡大により外食事業において店舗休業や時短営業を余儀なくされましたが、一方で、前期から継続しているコスト削減による損益分岐点売上高の低減に加え、雇用調整助成金や時短協力金等のご支援もあり、第1四半期から第3四半期の各会計期間において親会社株主に帰属する四半期純利益が前年を上回る結果となりました。特に第3四半期連結会計期間は営業利益2億77百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1億8百万円を計上し、業績改善に寄与いたしました。

収益力の強化策といたしましては、店舗家賃の減免交渉や投資の抑制、各種経費の見直し、コストに対する意識強化等によりコスト削減に努めてまいりました。また、コロナ禍収束後も

業績の回復が見込めない不採算店舗については、順次退店を進めてまいりました。

さらに、セントラルキッチンにおいて仕入食材の内製化に必要な製造機器の導入等、収益確保や生産性向上に向けた設備投資を実施しております。

以上の結果、通期におきましては、営業損失、経常損失を見込み、雇用調整助成金や時短協力金等のご支援により当期純利益を計上する見通しであります。この度、見通しが困難であった期末における売上高について実績見込みが確認できましたので、2022年4月期の連結業績予想を算定いたしました。

3. 配当予想について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
(普通株式)	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—	未定	未定
今回予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—	—	—
前期実績 (2021年4月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

4. 配当予想の理由

当社及び当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を重要な課題と位置付けており、強固な経営基盤の確保によって、安定した収益体質による株主資本利益率の向上に努め、業績に裏付けられた適正な利益配分を行うことが必要と認識しております。

しかしながら、現時点の財務状況を勘案した結果、誠に遺憾ではございますが期末配当を見送らせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、次期以降、グループ一丸となって業績回復に注力し、早期に復配できるよう努めてまいります。引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※1. 上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

※2. 当社が発行するA種優先株式の配当につきましては、追ってご連絡いたします。

以 上